



# 東校だより

5月号

令和4年4月28日

横浜市立小学校

校長 保科 桂子

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azuma/>

## 「魔法の言葉」

こうちょう ほしな けいこ  
校長 保科 桂子

このところ、夏のように暑かったり、冬のように寒かったり、日によって季節が変わる気候が続いています。入学や進級で環境が変わり、気持ちが張り詰めているお子さんも多い年度初めに、気温や気候のストレスは大きいものと思います。どうぞご家庭ではゆったりとゆっくりと、よく寝てよく食べて、明日への活力を養えるようにしてあげてください。お願いいたします。

入学式では、1年生に「魔法の言葉」の話をしました。今年の2年生が1年生の時にも同じ話をしました。「魔法の言葉」は三つあります。

ひとつ目は「おはようございます」

二つ目は「ありがとうございます」

三つ目は「おねがいします」

三つの「魔法の言葉」はいずれも、「誰か」に伝える言葉です。朝初めて会ったときに「おはようございます」、何かをしてもらったときに「ありがとうございます」、自分ができないときに「おねがいします」と言います。誰かとつながる時に大きなきっかけとなる言葉だと思っています。私たちは一人では生きていないのだなあと思うとともに、友達や先生、たくさんの人と過ごしたり関わったりする場が学校生活なのだなあと感じます。

1年生に「魔法の言葉」を紹介したのは、友達や先生、多くの人と関わって、小学校生活を楽しく過ごしてほしいと思ったからです。そして、1年生だけではなく、2年生以上にも、ひいては中学生や高校生、おとなにも、「魔法の言葉」となり得ます。

登校してくるときに、元気に「おはようございます」とあいさつする1年生の姿に、安心して、私の方が元気をもらっています。また、学習や生活の中では、「できるようになること」が重要視されがちです。確かに、できないよりできる方がいいことはたくさんありますが、それでも自分のできないことについては、助けてもらったり、教えてもらったりすることの方が現実的です。遠慮せず、「おねがいします」「ありがとうございます」と言うことができる勇氣や関わりを育てていきたいです。